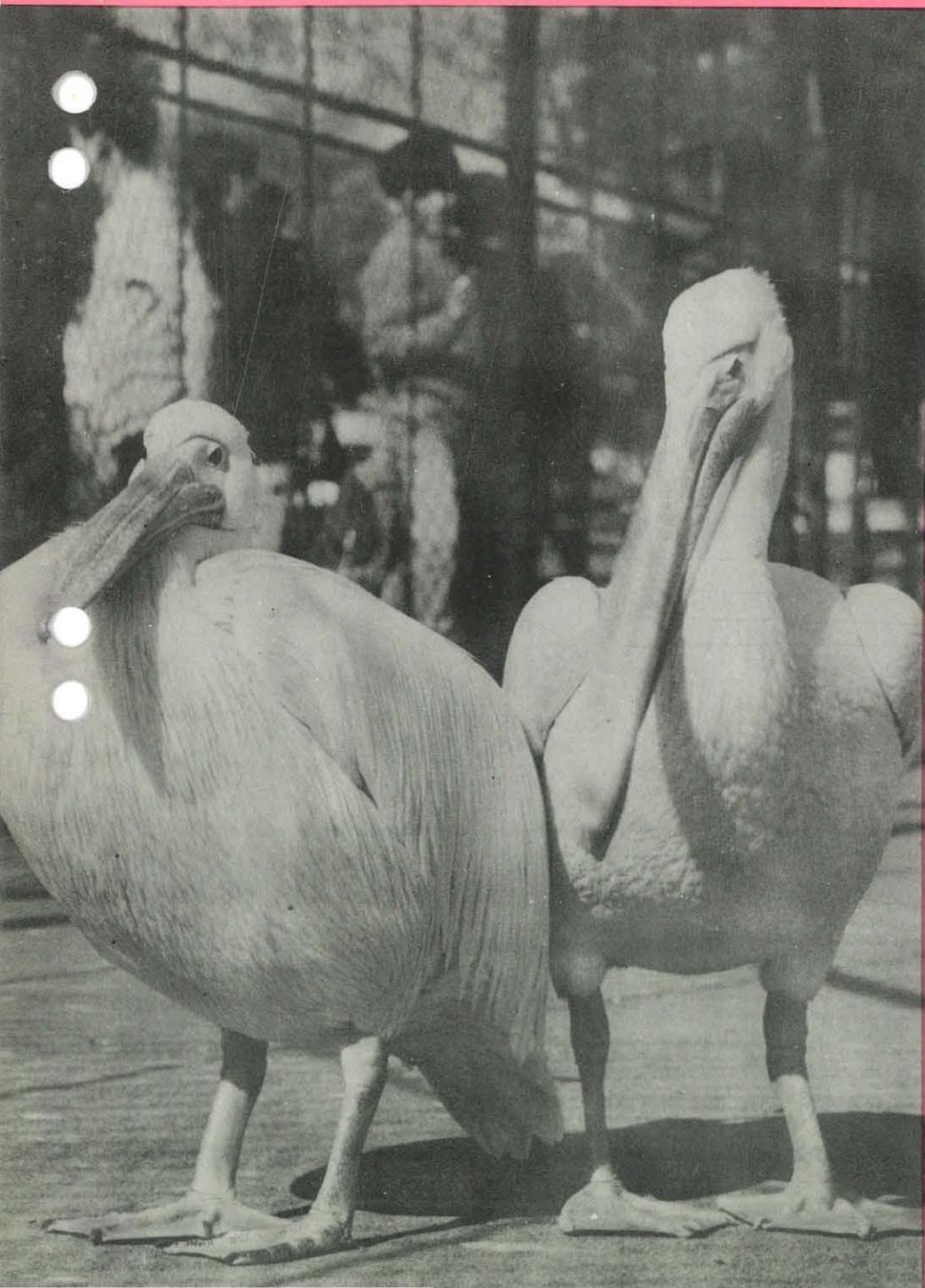


なきごえ



1971

4

大阪市
天王寺動物園協会

幼児教育と動物園

ひかりのくにK.K 編集部長
大阪保育学院講師

辻本 修

数年前、大阪市立自然科学博物館に勤務していた私にある出版社から「どうぶつのかちゃん」という1冊の絵本が送られてきました。その絵本を見て私は思わずふきだしたのです。その絵本には、サルの子の赤ちゃんのしっぽにリボンを結んだ絵があり、その文「かわいいチンパンジーのかちゃん しっぽにリボンをつけてもらって おおよろこび」とあったからなのです。サルでもチンパンジーやオランウータンやゴリラにはしっぽが無いのを出版社の人たちは御存知ないからこんな絵本が出版されているのです。そして動物について無知な母親や幼稚園・保育園の先生方は何の疑いもなくこんな絵本を平気で子どもたちに与えているのです。この1冊の絵本だけでなく、その他にも間違った知識の絵本が数多く出版されていました。「子どもに正しいものを与えてはならない、こう思って私はとうとう5年前に幼児教育の出版社の編集者に転職しました。今でも編集の仕事にたずさわっていますので、最近では数多くの幼児本を見ています。ところが、まだ「チンパンジーにしっぽ式」の絵本をよく見かけるのです。物を正しく見て、正しく考えることが科学なのです。ところが、動物や植物に関係した絵本を単に子どもに与えるだけで、子どもの科学教育をしているように思っておられる母親や先生方がおられるようです。自然科学の研究は本を見るより、自然そのものを見るのが本筋です。どうしても本物が見られない、その時、本を活用するのです。最近では幼児教育ブームの波にのっかって数多くの絵本が出版されています。科学的に間違っているもただ子どもの興味をひけばよいというようなものも残念ながら見かけられます。私は、これを絵本の公害とよんでいます。絵本の公害からのがれるために、よい本を選ぶと同時に、自然その物を見るようにしたいものです。このようなことから私は「子どもといっしょに、動物園へ行く

ことをおすすめします。

子どもは特に、動物と乗り物に興味を持っています。子どもが欲しがるとは動物と乗り物ですし、またぬいぐるみの動物や乗り物の玩具を子どもたちは欲しがります。有名な映画製作者ウォルト・ディズニーは「興味のない所に教育は無い」として教育映画を作っていました。幸い日本の大都会には必ずと言っていいほど動物園があります。この動物園を幼児教育の場として大いに活用したいものです。

では、どのようにして動物園を活用すればよいのでしょうか。動物の名まえを、むやみやたらに覚えさせようというのはいけません。

なぜこんな名まえがついているのか、名まえの意味を理解させて、名まえを覚えさせることです。そして、それぞれの動物の長所や他の動物と違っている所などを発見させてください。例えば、それぞれの動物の足の裏の比較(砂漠を歩くラクダ、氷上を歩くシロクマなど)、口ばしの比較(食べ物によって違っているニワトリやアヒル、そしてペリカンはなぜあんなになっているか)、耳や鼻や目などの比較などいろいろある筈です。また餌を与える時刻に行くところの動物はどんな餌を食べるかを、子どもたちは自分の目で見られるのです。このため園外保育として動物園へ行く場合は必ず事前に動物園と連絡をとって餌をやる時刻などを知っておくべきです。また、動物園の人から事前にいろいろな指導を受けておくことも、保育効果をあげるためには必要なことなのです。

動物園には極地に住んでいたシロクマやペンギン、また熱帯地に住んでいたキリンやゾウやカバなどがいます。つまり、いろいろな気候の土地に住んでいたいろいろな動物が動物園にいるのです。このため、1年に1度でなく、違う季節に行くと、季節によって動物はどんな動作をしていたかを知ることにもたいせつなことです。都会の子どもたちは、遊園地へ行って乗り物に乗って遊ぶことを知っていますが、動物園へ行き動物をじっくり観察するという遊びにはなれていません。何度も動物園へ行くことによって観察遊びができるようになります。また、どの動物

園もいつも未完成です。というのは、どんどん動物園の施設や収容動物は変わっていています。生き物の動物は死にます。その代わり子どもが誕生しますし、新しい動物も入ってきています。重ねて、1年に1度でなく、何度も動物園へ行くことをおすすめします。

小学校に国語・社会・算数・理科・音楽・図画工作・家庭・体育といった教科があるように、幼稚園や保育園にも言語・社会・自然・健康・絵画製作(造形)・音楽リズムという領域指導があります。動物園への園外保育はこの6領域全般へ展開できるものです。園外保育当日だけでなく、園に帰ってからの保育にいくらかでも活用できます。

動物に親しむことによって、動物への愛情がわき、それが自然愛護へとつながります。最近特にクローズアップされてきた自然保護ということも、幼児期からの関心がたいせつなものです。このように動物園での保育は、幼児教育に大きな役割を果たすものですから、動物園も幼児のためへのサービスということを考えねばなりません。

私が保育学院の学生を連れて科学博物館へ保育実習に行った時、ある学生は「手をふれないでください」というラベルが各所に掲示されているのを見て、どこかに「必ず手でさわってください」というのがあればよいのと言っていました。私は、さすがに保育学院の学生だ、子どもは手でさわって実感を味わうものだというのを学生は知っているのだと思いました。動物園でもこの二点を考えて欲しいと思います。東京上野の動物園には「子ども動物園」があります。ここでは、子どもがウサギやヤギやモルモットと遊べるようになっていました。そして、この動物園では夏にはサマー・スクールが開設されています。このような施設や行事には経費や人員が必要ですが園運営の一部の経費や人員をこのような子どものためのものにさいていただきたいのです。動物園ファンの子どもたちが、成人すればきっと動物園をよりよくするための力となってくれると私は信じます。

また、今の動物園の掲示は子ども用のものは少ないようです。今の子どもは漫画が大好きです。文字の掲示にプラス漫画の掲示をとり入れて欲しいのです。そして市街地ではだんだん子どもの遊び場がなくなってきていますので、楽しい子どもの遊び場、それは動物園であると、胸を張って言えるような、すばらしい動物園にしていきたいのです。

そして、私たち利用者は、今一度効果ある動物園の利用について考えてみましょう。

身近な動物の価格一覧表

最近では、ペットブームの影響などで、犬や小鳥を飼ってみようと思われる方が多いようですが、いざ買う時、希望する種類などによって、価格が違い、犬では特に血統などによって、価格の上下がはげしく、はっきりした市価は分りませんので、ここに吉川商会と、ペットセンタータナカの協力を得て参考となる価格をのせて見ました。

◎ 犬

スピッツ	1頭	6,000~12,000円
マルチーズ	〃	20,000~40,000円
ヨークシャテリア	〃	30,000~80,000円
プードル	〃	25,000~50,000円
ダックスフンド	〃	15,000~40,000円
柴犬	〃	20,000~50,000円
コリー	〃	20,000~40,000円
ポメラニアン	〃	30,000~60,000円
グレートデン	〃	30,000~150,000円

◎ 小鳥、オーム

十姉妹	1番	800円
セキセイインコ	1番	2,000~2,500円
文鳥(洋文)	1羽	500円
白文鳥	1番	4,000円
日の丸鳥	1番	25,000円
小町雀	1番	20,000円
小桜インコ	1番	8,000円
おかめインコ	1番	12,000円
七草インコ	1番	55,000円
るりこしインコ	1番	10,000円
八重桜インコ	1番	9,000円
九重インコ	1番	110,000円
小白オーム	1羽	18,000円
黄えり帽子	1羽	35,000円
九官鳥(親)	1羽	5,000円
九官鳥(ヒナ)	1羽	10,000円

◎ その他、小動物

縞リス	1匹	1,200円
うさぎ	1匹	500円
たいわんざる	1匹	35,000円
みどりがめ	1匹	300円
ぜにがめ	1匹	250円
うづら	1羽	250円
モルモット	1頭	1,200円
りすざる	1頭	30,000円
あひる	1番	5,000円

なきごえ4月号もくじ

幼児教育と動物園	2・3
身近な動物の価格一覧表	3
動物園グラフ	4・5
幼稚園での動物飼育について	6
動物園ニュース	7

表紙の写真説明

“モモイロペリカン”

大型の海鳥で、ピンクがかった白色の羽毛が大変美しい。フライイングケージの女王さまというところ。

動物園グラフ

“学校・幼稚園の禽舎のいろいろ”

大阪市内のいくつかを選びました。
情操教育の一環として、広く利用されています。

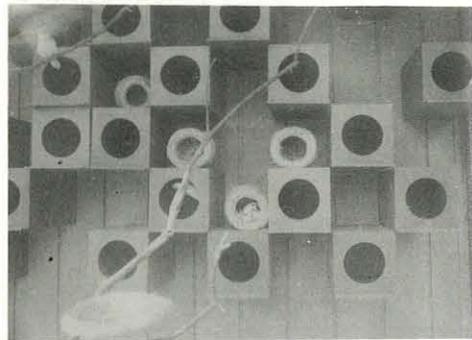
(写真と説明：樽本 勲)



←小さいが、よくまとまった禽舎。
軒をうまく利用し、風防のシートもつけてある。前面はガラスでよく観察できます。
ジュウシマツ・ブンチョウ・セキセイインコ

↓ 巣箱 造形的な美しい配列。

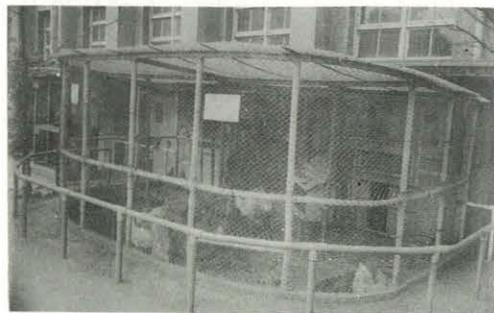
(市立堀江幼稚園・東区)



↑植え込みとマッチした禽舎。
ジュウシマツ、スズメ、下には、カメも同居しています。
(市立玉出幼稚園・西成区)



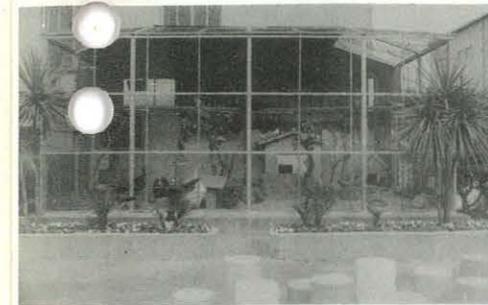
↑変形五角形の禽舎
狭い面積でも、アイデア一つで広く活用。
ジュウシマツ、ブンチョウ、チャボ、ウサギ
(市立粉浜幼稚園・住吉区)



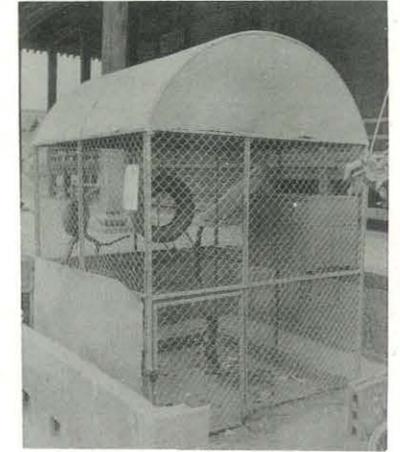
←ニワトリ・ハト舎。
エスロンパイプの支柱で、手造り。
(市立堀江小学校・東区)



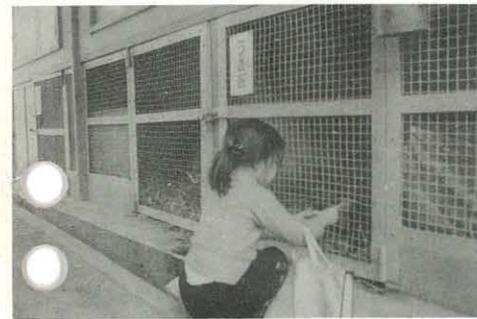
←片流れのオーソドックスな禽舎。
生徒たちの手造りで、1升ビンを利用した自動給餌器も備えてあり、努力のあとがしのべれます。
セキセイインコ、ジュウシマツ
チャボ。
(市立野田小学校・福島区)



←デラックスな禽舎。
鉄骨作りの広い禽舎で、大型の鳥類も、のびのび。幼児の図画の教材に、どしどし利用しています。
ガチョウ、クジャクシチメンチョウ、キンケイ、ホロホロチヨウ、ハト、セイケイなどの大型のものと、ブンチョウ、ハトも雑居。
(市立津守幼稚園・西成区)



↑サルのケージ
(めぐみ幼稚園)



↑うさぎ舎：校舎の軒下を利用して、うさぎの他、キンケイ、トビも飼育しています。(私立めぐみ幼稚園・東淀川区)



→校舎の側壁を利用して、石組みとプールのある禽舎。
アヒル、ニワトリ、ハト。
(私立めぐみ幼稚園・東淀川区)

3月動物園日記

1. オランウータンのチビちゃんがあやまってチンパンジーの檻に近づき、おすのリカ君に後肢の指を噛み切られてしまいましたので治療しました。
こんな大ケガなのに、なんともないふうで、いつもどおり元気で、食欲も変わりありませんでした。
2. クロエリハクチョウを南園のアシカ横の池に移してやり

3. マントヒヒのおすはかねてから病気治療中でしたが、薬石効なく死にました。しかし、子供たちも大きくなっていますので、サルアパートはさびしくなることはありません。
4. 九州の到津遊園より、飛行機便で、キーウイのためにミズがたくさん送られてきました。
5. ハナグマがけんかをしてめすの足をかんでしまったので

7. カムリヅル1羽が肝炎のため死にました。
シマウマの子がどうしたのかびっこをひいていますので治療をしています。
9. ヒクイドリとクモザルが寒さのため少し弱っていますので、看護しています。
11. 1昨年生まれのピューマを動物交換として出し、カムリワシとウミワシを入れることにしました。

15. ボア1匹が衰弱して死にました。
16. 嘴の折れたシュバシコウは手当の結果良好なので、仲間のところにもどしました。
17. グンカンドリとカツオドリは冬の間暖房室にいましたが、暖かくなってきましたので、もとの放飼場に出しました。
タンザニアの大使が万国博のときにもらったチーターのようすを見にこられました。

幼稚園での動物飼育について

めぐみ幼稚園々長
大内乗純

幼稚園教育では、自然の領域に於いて、「身近な動植物を愛護し、自然に親しむ」様に指導する事を示しています。園外保育として、近郊の動物園へつれて行った場合、世界中の数多くの大きい動物、小さくて、可愛い動物を身近かにみる事が出来、その色々の動物達の色や、形や、習性、鳴き声、動作等について付添の先生は、掲示の説明文をたよりに、色々と園児達にわかりやすく話しかけ、動物に対しての親しみと、興味を与えようと努力をします。しかし、園児達は、柵の中に入っている動物たちに、一生懸命話しかけたり、手をのびて少しでも近づこうとし、身ぶりよろしくさわぎたえます。柵の中の動物とのへだたりは、いっこうに変わりません。先生は、そんな園児達に、「可愛いでしょう」「強いよ」「かみつくわよ」「静かにしてみようね」と色々な表現をして、園外保育の効果を期待いたします。そこで、もっと身近に動物達に興味を持たせながら観察を通じて、親しみや愛情を深めるために、私の園では、園児も「飼育に参加出来る」「手にふれる事が出来る」。この2点を考えまして、兎、小鳥、鳩、猿、アヒル、鶏、金けい、りす、犬、それに以前は、からす、たぬき、やぎ、等の飼育を行って来ました。

以上の動物の内、特に人気のあるのが、兎、猿、アヒル、犬でしょう。兎はよく赤ちゃん（子供）を生みます。多い時には、25匹にもなり、新しい小屋作り、ワラの交換、エサの準備に、八百屋2・3軒におねがいで、大根菜を集めるのに、それは、それは、苦労いたします。そんな苦労よりも、園児たちの喜びを期待いたします。朝礼の時に兎の赤ちゃんが生まれましたと、お話をすると、遊び時間になると、兎小屋の前は、大変な人だかり、おしあひして見えますが、赤ちゃん兎はワラの中、見えません。先生がつかんで、見せてやると、目をかがやかせ、手をたたき、やんやと大喜びです。或る園児ですが、便所へ行ってなかなか、室にもどらないので担任の先生が探しに行くと、兎小屋の前で、子兎の出で来るのを、じっとしゃがんで待っているのです。室に入ると、30分程して又便所へ行くと言って、兎小屋の前でしゃがんでいます。とうとう、その園児は、遊び時間を含めて園にいる間の殆どは兎小屋の前で、すわりこみです。しかし、その日は、子兎との御対面はだめでした。次の日、私は小屋の中に入って、子兎を出し、その園児にさわらせてやりました。その時のうれしそうな顔、そおと出した可愛い手は少し感動にふるえている様でした。アヒルは時々、園児をこついたり、おいかけてりますが、なんとなく、ひょうきんな動作、鳴き声池の中の泳ぎ方、もぐりの上手な事、園児が沢山見ていると、特に、得意になって、泳ぎ廻ります。

猿の方は、小さい時は、園児の背中、頭に乘ったりして、大変なついでよいのですが、少し大きくなると檻の中に入れる様にしています。現在の猿は大きくなっては入れ変えて8匹目です。(知り合いの動物商にお願いし、小猿と交換してもらうのです) 犬は、子犬を年2回生み、生むと登園した園児は子犬の取合い、親犬が子犬をもっているのを見て、うろろしているのが少し可愛いそうです。

私達の近くでは、飼犬が少なくなり(野犬は年々多くなりますが)飼っていても子犬が生まれた話は聞きません。1人っ子などは、順番が廻って来て、自分がだっこする番になると、遊び時間中、だきっぱなしです。以前に飼っていた「からす」「たぬき」は生肉が常食のため、どうしても不潔になり、悪臭のため、よほど、小屋の構造、場所を考えないとだめです。やぎは小さい時は、大変人気者でしたが、うっかりして 園内の木にくっついておいて、生皮をすっかり食べてしまい、植木が枯れてしまった失敗もありました。大きくなると、園児をつきたおしたり、足でける等、園児に怪我こそさせませんでしたがそれは、それは大変な暴れん坊でした。これらの動物は、どうしても、園長及び職員(運転手も含む)が飼育をする事になりますが、兎にナツバをやったり、猿にエサを渡したり、小鳥の水をかえてやる等は、先生と一緒にやっています。数人の園児が兎にナツバをやった時のうれしそうな顔、少しこわいが、うまく猿にエサを渡せた時現代的に「やったで」といった顔付き小鳥に新しい水を入れてやり、小鳥たちがうれしそうに新しい水を飲んでくれるのを園児たちは、「のんだのんだ」と大喜び。兎をだっこして、手から離れた兎が車の下、樹木の繁みへ兎はおかまいなしに逃げまわる。それをおいかける園児、車の下をはいまわり、樹木の中へ突進してつかまえるとする真険な姿、この様な園児達の生活の一部が毎日の如く観察出来るのです。

動物によって、えさの種類(私の園では10種類使用、ふすま、ぬか、混合(養鶏配合)、ヒマワリ、オノミ、鳩(鳩配合)、アワ、サツマイモ、貝殻(粉)、シード)、食べ方、鳴声、動作(歩き方、飛び方)等について、園児達と話し合いをする場合、実際に園で飼育していると、大変効果があります。

次に飼育小屋、場所等ですが、幼児が身近に観察したり、世話をしやすい場所構造が必要です。又職員室や医務室の近くであるべきです。どうしても梅雨時分、じめじめして少し悪臭が出るものですから、園によっては園の隅の方か、離れ小島の様な処に、ボツンと鳥小屋がありますが、雨の時など、充分世話が出来ません。といって日当りの悪い処、風通しが悪い、寒い風がふきこむ等のない様に考慮してやらなければなりません。それに野犬など外敵に襲われる場合がありますから、以上の事を充分考慮していただきたいと思ひます。動物愛護精神の意味からも、1夜あけて登園してみると、動物小屋の網がやぶられ、動物達のむごたらしい姿を園児達がみたらどれだけ、今まで楽しかった動物達との夢がこわれる事でしょう。私も、野犬に鳥小屋を襲われた時、かわいそうだから、もう飼わないことにしようと思った事が何度かありましたが、そんな気持ちを振りすてて丈夫で、掃除しやすい、日当りのよい小屋を作り、新しい小鳥を入れてやります。園児達が、うれしそうに、小鳥の飛び廻っているのを見、口笛をふいて小鳥に話しかけている姿をみるにつけ、園児達に、動物を通じて、園児なりの夢を、探究的な態度を、見たり考えたり判断したりする能力を育てて行きたいと思ひます。

動物園ニュース

ですが、動物園では、一しょうけんめい手当し飼育した結果、7羽のうち5羽が無事越冬しました。昨年10羽がきて1羽しか越冬しなかったのですから、大変好結果です。

★アライグマの人工哺育



2月15日アライグマの赤ちゃんが1頭生まれました。しばらく、母親が一しょうけんめいに育てていましたが、3月10日頃にどうしたわけか母親が、赤ちゃんの背中をかんで傷をつけてしまいました。このまゝにしておくと、咬み殺してしまわれるおそれがありましたので、ひとりで人工哺育することにしました。

★嘴を折ったシュバンコウ



フライングケージのシュバシコウの1羽が1月28日に飛んでいるうち金網にぶつかり、大事に上嘴を折ってしまいました。早速、手術用のステンレスの縫合線で縫い合せましたが、出血がひどく、一時はダメかと思われました。2~3日後、出血は止っていましたが、嘴はぐらぐらしてえさ

の魚をついばむことができません。このまゝではいけないと判断して、今度は、セルロイドを適当な大きさに切り、嘴に合せてまげて木工用の接着剤ではり合せました。しばらくは、嘴を使うこともしなかったのですが、そのうちに、餌のアジをついばめるようになってきました。その後、接着のぐあいを点検しましたが、もうすっかり、具合よくついて、餌もどんどん食べて元気になりました。

★こんなに大きくなりました。



◎バクの赤ちゃん。
昨年11月17日生まれのアメリカバクの赤ちゃんは、人工哺育がうまくゆき、どんどん大きくなっています。もうそろそろ暖房室を出て広い運動場で親りがそろってお目見得する日も近いでしょう。



◎ラニーひろ子ちゃん。
冬の間は、狭い部屋の中で運動不足をかこっていましたが、暖かくなってきましたので、どんどん運動に出してやっています。この間は、さいの運動場をちょっと借りて、自由に遊ばせてやりました。昨年の5月3日に入園してから、もうすぐ、1年になります。背の高さもぐんと高くなり、体重も重くなっています。5月5日には、また、目方を計ってもらうことになっています。

★近づくお産



この春には、いろいろな動物たちの出産が予想されますが、フタコブラクダもその1つです。一昨年につづいて2度目の出産です。このごろでは、大きなお腹が目立つようになっています。(写真立っているのが母親)

★オオミズナギドリ無事越冬



昨年秋から7羽のオオミズナギドリが動物園に届けられました。これは、渡りの途中で弱って落ちたもの

編集委員

- | | | |
|------|------|------|
| 入口富夫 | 米田敏光 | 松岡恵爾 |
| 林邦彦 | 樽本勲 | 深井和美 |
| 大野尊信 | 田上勝 | 東政宏 |
| 和田辰巳 | 中川道朗 | |
| 加幡一男 | 農本武志 | |

なきごえ 昭和46年 4月15日発行 (毎月1回15日発行) 第7巻第4号 (通巻69号)

編集人/加藤寿雄 発行所/社団法人大阪市天王寺動物園協会

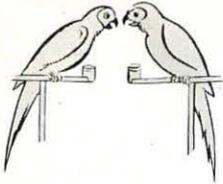
印刷所/株式会社 松村善進堂

〒543 大阪市天王寺区玉水町2

電話 大阪 (06)771-0201

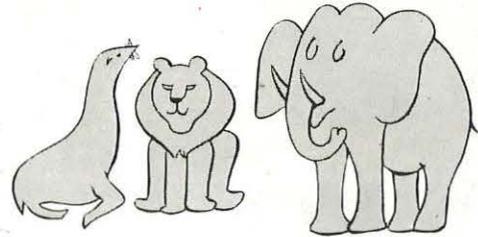
振替口座 大阪 37823

定価 50円



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達



- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円

有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話 (078)22-8195・22-1517

飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話 (078)24-3494



オイシサも…

品質も…

グーンとアップ!

グリコジャイアンツコーン

●パナラ・ナッツ・チョコレート

30円50円



★とろりとした
良質のチョコレートに
ナッツがかかっている!

グリコ アイスクリーム

江崎 グリコ 株式会社